



指揮:佐々木新平

ごあいさつ

昨年に引き続き2回目の共演となったオケセン。今回はオールロシアプログラム、『寒いけどあたたかい』雪国出身であればなんとなくわかる感覚です。ロシア音楽独特の冷たさ、厳しさ、そしてそこから生まれるぬくもりや情熱を、オケセンの演奏を通して必ずや感じていただけることでしょう。どうぞご期待ください。

プロフィール

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイトコンダクター。秋田県生まれ。東京学芸大学芸術文化課程音楽専攻を経て、桐朋学園大学で指揮を学ぶ。これまでにヨーロッパ各地にて国際指揮者マスタークラスに選抜され、それぞれで優秀な成績をおさめる。

2010年より2年間、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員をつとめ、飯守泰次郎、矢崎彦太郎両氏をはじめとする指揮者のもとで研鑽を積む。在任中はアシスタント業務のほか文化庁公演をはじめ数々の公演を指揮する。2013年から2014年にかけてミュンヘンにも居を構え、ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2015年1月公開の映画『マエストロ!』では、撮影前の準備段階から制作に携わり、西田敏行氏への指揮指導のほか劇中音楽収録の指揮も担当した。また安倍なつみのアルバム「光へーClassical&Crossover」のミュージックビデオでの指揮を担当するなど、多方面に活動の幅を広げている。

これまでに東京シティ・フィル、東京フィル、東京交響楽団、仙台フィル、群馬交響楽団、東京混声合唱団、東京吹奏楽団、シエナ・ウインド・オーケストラ等を指揮。指揮を秋山和慶、小泉ひろし、曾我大介、Jorma Panula、Horia Andreescu、Mark Stringer、音楽学を久保田慶一、遠藤徹の各氏に師事。

<http://shimpei-sasaki.com/>

オーケストラ・ドゥ・センダイ

Orchestre de Sendai (通称オケセン)は、2004年に発足したアマチュアオーケストラです。現在は仙台市を始め、県内各地及び近県からもメンバーが集まり、年に一度の定期演奏会を中心に活動を行っています。オケセンは「参加しやすいオーケストラ」であることを大切にしており、楽器を始めて間もない方や長いブランクを挟んで演奏活動を再開した人にとっても居心地のよいオーケストラであることを心がけています。そして居心地の良さに甘えることなく、一人一人が自立した「街の音楽家」として、音楽を通じ表現したいことを追求しています。メンバーは老若男女、幅広い年齢層で構成され、なかでも若手社会人や大学院生が多いのが特徴です。またメンバー同士の交流も盛んで、音楽以外の場でも頻りに集まっており、メンバーの仲の良さはオケセンの魅力であり財産です。第13回定期演奏会では、昨年に引き続き新進気鋭の指揮者である佐々木新平氏を迎え、ロシア音楽の二つの潮流から、ムソルグスキー作曲の序曲「禿山の一夜」(R.コルサコフ編)、ボロディン作曲の歌劇「イーゴリ公」から「韃靼人の踊り」、そしてメインにチャイコフスキー作曲の交響曲第5番を演奏します。今回のプログラムはロシアという北の大地で生まれた音楽を取り上げています。序曲は深い夜の情景を、中曲は心地よい旋律と力強い踊りの音楽を、そしてメインはチャイコフスキーの代表作である交響曲第5番、ロシアのとある街で過ごした日常から生まれた曲です。今回は冬の夜の演奏会になり、「楽都」の街でオケセンが創り出す遠いロシアの情景を、皆様とご一緒できればと心より願っております。



第12回定期演奏会(2015)より

団員募集

オケセンでは、「一期一会」をコンセプトに活動しています。年齢・楽器の経験年数は問いません。わたしたちと一緒に「オーケストラ」の世界を楽しむ仲間を心よりお待ちしております！

※募集楽器、練習日程等の詳細は、webサイトをご参照ください。
<http://orchestre-de-sendai.jp>

練習日：毎週日曜日(午後6~9時)

対象：楽器経験者(オーケストラ初心者歓迎)

※オーディションはありません。

団費：月毎の団費はありません。(演奏会毎に参加費を徴収いたします)

問合せ：info@orchestre-de-sendai.jp

練習場：旭ヶ丘市民センター 等